
2019年3月期 決算説明資料

2019年5月10日

株式会社 セブン銀行

目次

2019年3月期決算

決算ダイジェスト 2頁

損益状況 <連結> 3頁

損益状況 <セブン銀行> 4頁

損益状況 <FCTI> 5頁

損益状況 <国内連結子会社> 6頁

財務の状況 <セブン銀行>・株主還元 7頁

中期経営計画 【進捗状況】

中期経営計画振り返り 9頁

中期経営計画の進捗状況 10-11頁

成長戦略 12-15頁

自己株式の取得 16頁

参考資料

ATM利用件数と受入手数料単価の推移 18頁

ATM台数と平均件数の推移 19頁

決済口座事業 20頁

海外事業 21頁

2019年3月期決算

連結

経常収益	1,472億円	(前年同期比+196億円)
経常利益	407億円	(" +24億円)
親会社株主に帰属する 純利益	132億円	(" △121億円)

単体

経常収益	1,195億円	(前年同期比+29億円)
経常利益	430億円	(" +8億円)
純利益	145億円	(" △146億円)

経常収益・経常利益ともに最高益

- 配当は中間5.00円、期末6.00円、年間11円で1円の増配

2020年3月期の見通し

連結

経常収益	1,489億円	(前年同期比+17億円)
経常利益	397億円	(" △10億円)

単体

経常収益	1,202億円	(前年同期比+7億円)
経常利益	417億円	(" △13億円)

中期経営計画の数値目標を修正、2020年3月期は減益計画

- 配当は中間、期末各5.50円、年間11円を予定

(単位：億円)

	17年度	18年度		19年度計画				
		計画 (2018年9月)	前年差異	通期	前年差異	上期	前年差異	
経常収益	1,276	1,472	1,472	196	1,489	17	736	2
経常費用	893	1,073	1,065	172	1,092	27	530	3
経常利益	383	399	407	24	397	△10	206	△1
特別損失	1	146	149	148	1	△148	0	△146
親会社株主に帰属する 当期純利益	253	128	132	△121	267	135	138	140

(参考) 持分法投資損益

18年度△2億円

19年度計画△16億円

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 連結損益の為替レート

: 1米ドル

2017年度 = 112.16円、2018年度 = 110.44円 2019年度計画 = 110.00円

損益状況 <セブン銀行>

(単位：億円)

	17年度	18年度		19年度計画				
		計画 (2018年9月)		前年差異	通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	1,166	1,196	1,195	29	1,202	7	596	△8
うちATM受入手数料	1,059	1,083	1,078	19	1,075	△3	534	△10
経常費用	743	771	765	22	784	19	378	3
うち資金調達費用	7	8	6	△1	8	2	4	1
うちATM設置支払手数料	143	148	150	7	160	10	79	5
うち業務委託費	183	188	185	2	203	18	97	5
うち保守管理費	41	39	38	△3	39	1	18	0
うち減価償却費	157	161	158	1	142	△16	68	△13
経常利益	422	425	430	8	417	△13	218	△10
特別損失	1	219	220	219	1	△219	0	△218
法人税等合計	130	64	64	△66	127	63	66	64
当期純利益	291	140	145	△146	289	144	151	144
EBITDA	580	586	589	9	560	△29	287	△22
期末ATM設置台数 (台)	24,392	25,350	25,152	760	25,502	350	25,333	577
ATM受入手数料単価 (円)	132.9	133.1	132.9	0	134.0	1.1	134.3	1.3
平均利用件数 (件/台/日)	94.1	92.3	92.3	△1.8	89.2	△3.1	90.2	△3.5
総利用件数 (百万件)	815	830	829	14	822	△7	414	△5

注) EBITDA = 経常利益 + 減価償却費

(単位：百万米\$)

	17年度	計画 (2018年9月)	18年度	前年差異	19年度計画			
					通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	96.5	244.3	248.5	152.0	255.4	6.9	125.2	6.1
経常費用	120.4	258.4	257.3	136.9	253.8	△3.5	125.5	△5.9
うち資金調達費用	12.5	30.1	31.7	19.2	37.7	6.0	18.1	3.5
うちATM設置支払手数料	58.0	141.9	140.1	82.1	139.9	△0.2	69.2	1.0
うち業務委託費	7.8	19.5	17.8	10.0	17.6	△0.2	8.8	△0.2
うち保守管理費	8.4	20.3	19.6	11.2	20.8	1.2	10.3	0.5
うち減価償却費	9.5	16.0	15.7	6.2	7.4	△8.3	3.5	△9.2
経常利益	△23.9	△14.0	△8.7	15.2	1.6	10.3	△0.3	12.0
特別損失	0.0	90.0	90.6	90.6	0.6	△90.0	0.6	△89.4
当期純利益	△27.4	△104.0	△99.5	△72.1	0.8	100.3	△1.0	101.3
EBITDA	△14.3	2.0	6.9	21.2	9.0	2.1	3.2	2.8
期末ATM設置台数 (台)	11,582	13,300	12,795	1,213	11,770	△1,025	11,761	△1,474
うちSEI設置台数	5,948	8,400	8,349	2,401	8,311	△38	8,306	403
平均利用件数 (件/台/日)	20.3	36.7	37.5	17.2	45.0	7.5	43.8	9.3
うちSEI設置	39.2	50.0	52.0	12.8	57.2	5.2	55.6	7.5
総利用件数 (千件)	51,812	177,400	177,628	125,816	194,000	16,372	94,000	12,085

注1) 2019年3月末時点のATM台数 = 12,378台 (うち SEI内 : 8,354台、SEI外 : 4,024台)

注2) FCTI社の資金調達費用 = ATM内装填現金を準備する金融機関への支払利息相当額及び委託手数料等

BBF

(単位：百万円)

	17年度	18年度		19年度計画				
		計画 (2018年5月)	前年差異	通期	前年差異	上期	前年差異	
経常収益	972	1,016	1,189	217	1,410	221	640	74
経常費用	881	981	1,052	171	1,260	208	616	126
経常利益	90	35	137	47	150	13	24	△52
当期純利益	57	22	108	51	97	△11	17	△32

7PS

(単位：百万円)

	17年度	18年度		19年度計画				
		計画 (2018年5月)	計画差異	通期	前年差異	上期	前年差異	
経常収益	--	492	45	△447	127	82	51	47
経常費用	--	597	182	△415	328	146	129	42
経常利益	--	△104	△137	△33	△200	△63	△77	5
当期純利益	--	△104	△137	△33	△200	△63	△77	5

貸借対照表 (2019/3末) セブン銀行

(単位：億円)

現金預け金 7,780 (ATM装填用 等)	預金 6,797 (個人預金 4,346)
有価証券 927	社債・借入金 1,450
ATM仮払金 1,948	ATM仮受金 808
その他 798	その他 202
	純資産 2,196
資産 11,455	負債+純資産 11,455

単体自己資本比率 (国内基準) 51.75% (速報値)
 格付 (長期) S&P A+
 R&I AA

株主還元方針

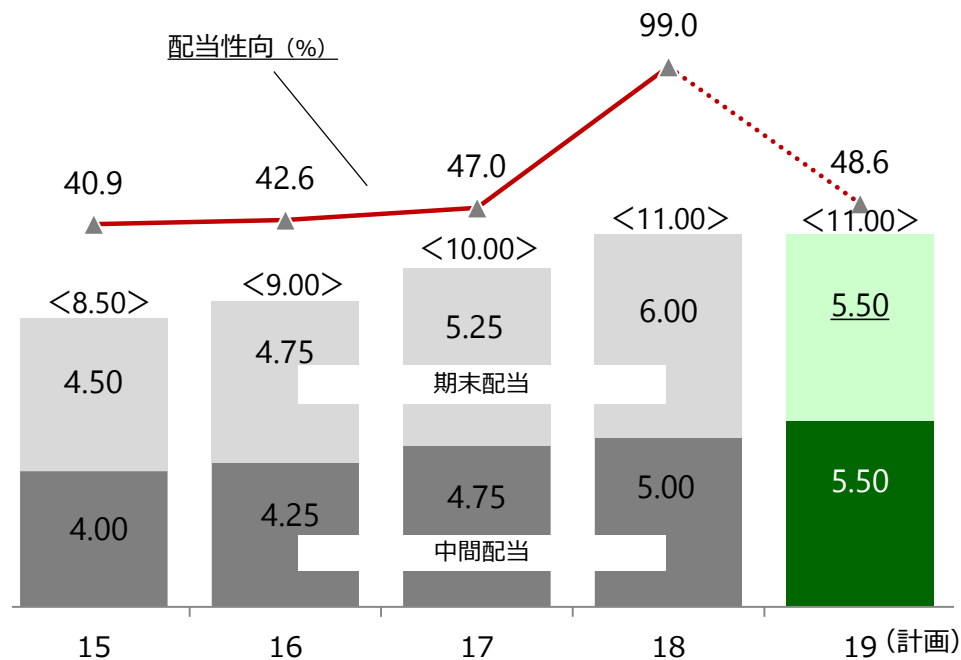
- 株主還元は、配当を基本とする
- 連結配当性向 年間40% を最低目標に、年2回の配当を実施


配当

- 18年度：年間11.00円
- 19年度：年間11.00円を予定 (配当総額 約129億円)

自己株式取得

- 50億円の取得枠設定 (詳細は16頁参照)





2017年度-2019年度
中期経営計画 【進捗状況】

2017年5月開示資料
再掲

本業を伸ばしつつ事業の多角化を実現

ATMプラットフォーム事業

新たなATM利用スタイルを創造

決済口座事業

グループ来店2,200万人/日のお客さまに流通らしい金融サービスを提供

海外事業

米国事業を軌道にのせ、アジアは基礎固め

中期経営計画

収益・利益の積上げ

目標数値を修正

- KPI 2019年度目標 経常収益1,616億円 (16年度対比+400億円)
経常利益447億円 (" +80億円)

事業環境の変化が加速、計画進捗の遅れを回復するのは困難であると判断
2019年度計画 経常収益1,489億円 経常利益397億円

長期的成長の基盤作り

継続して推進

- 2020年度以降を見据えた成長の基盤作り

引続き、施策を着実に積上げ
「種蒔き」から「育成」のステージへ

	計画	2019年度 見通し	差	要因
連結	+400	+273	△127	16年度実績に対しての経常収益の積み上げ（単位：億円）
ATMプラットフォーム事業				
堅実な規模の拡大	+100	+36	△114	平均利用件数の漸減傾向は継続
更なる品質の向上				セブン-イレブン店舗の出店抑制を主因に台数計画下振れ
新たなATM利用スタイルの創造				新サービス開始も、新しい市場開拓に時間を要す
決済口座事業				
ローンサービス	+50	+30	△20	銀行ローンを取巻く環境変化、貸付残高伸長鈍化
海外送金サービス				入管法の改正により送金市場はますます拡大へ
デビットサービス				発行枚数・利用件数は堅調推移も、利用単価が想定下回る
売上金入金サービス				セブン-イレブン以外のサービス利用法人は着実に増加
海外事業				
米国事業	+200	+195	△5	セブン-イレブン店舗全店へのATM設置は予定通り完了
アジア（インドネシア等）	+α	+0	+0	事業環境が変化、業容拡大ならず

連結子会社・関連会社を含め、**事業領域の拡大**を推進

国内事業

ATMプラットフォーム	ATM	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ATM受託に向け、新たなビジネスモデルを構築 ➢ 次世代ATMを活用した新たな利用価値創造 	セブン銀行 セブン・ペイメントサービス
	セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 「安心安全」ノウハウを活かしビジネス化 	CAULIS <small>IT Solution Innovator</small>
	BPO*	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 共通インフラとして事務受託ビジネスの強化 	<small>セブン銀行の100%子会社</small> パンク・ビジネスファクトリー
	居住外国人	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 生活における金融サービスインフラを提供 	one visa
決済口座	決済・口座	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 他社と連携するアカウントビジネス 	
	金融商品	<ul style="list-style-type: none"> ➢ わかりやすく簡単な金融商品の充実 	
	法人	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 法人向け決済サービスをリアル/ネットで提供 	セブン銀行

海外事業

米国	米国	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ATM利用の拡大 ➢ SEIとのシナジーで、新たな金融サービスを提供 	FCTI NATIONWIDE ATM NETWORK
	アジア	<ul style="list-style-type: none"> ➢ セブン-イレブン出店地域でのATM・金融サービス等の展開 	

*BPO=Business Process Outsourcing

セブン銀行のプラットフォーム

新しい価値の創造

Innovation!

新しいATM利用スタイル：技術革新+新しいパートナーとの協働



2017/3 スマホATMサービス拡大

2017/8 新決済事業者との提携



2018/5 ATM受取 (現金受取サービス)

2018/10 電子マネーチャージ拡大



New!

新たな事業領域の拡大：出資先・パートナー企業等と連携強化

外国人金融サービスインフラ提供

マネロン対策等のセキュリティ強化



ATM

- **2018年度に立ち上げた新たなサービスの推進強化**
 - 新決済事業者・ATM受取（現金受取サービス）の提携先拡大
 - 電子マネーチャージ：認知強化
- **グループ外設置の推進強化**
 - 東京オリンピック・パラリンピックに向け「観光・流通・交通」の深掘
- **他金融機関のATM代替に向け営業強化と機能開発**
 - 既存差別化機能の強化と新たな差別化機能を開発（本人確認機能の開発等）

セキュリティ

- **マネロン対策を中心に事務受託ビジネスの推進強化**

居住外国人

- **外国人労働者増加をにらんだ海外送金ビジネスの枠組み見直し**
 - 営業体制の見直し（出資先、パートナー企業との連携強化）

次世代ATM

2019年秋より
設置開始予定

- **更なる運用効率追求、環境負荷低減等の基本性能の革新**
- **高精度カメラ・スキャナー等の技術革新の成果を取り入れる**
- **本人認証など新たな使い方によるサービス拡充を検討**（実証実験予定）

国内事業

決済・口座

- 「スマホとATMを中心とした口座」に向けUI/UXを見直し
- API活用によるサービス連携の拡大 = 機能強化
- 7pay、nanacoと協業し顧客接点を拡大、レジ決済合理化への貢献

金融商品

- 出資先と連携した独自商品（運用、保険等）の開発と提供

海外事業

米国

- **黒字化と新サービスの開発**
 - 黒字化実現に向け経営の合理化、件数アップに邁進
 - ATM利用データを活用した、新サービスの開発

アジア

- **セブン-イレブン出店地域を中心に進出検討**
 - ATMでの進出 + ATM以外の金融事業も視野に

自己株取得：上限50億円の取得枠設定

- 資本の状況、業績動向、**当社株価の水準**、成長投資機会、資本効率向上等を考慮し判断

自己株式取得の概況

取得金額	50億円 (上限)
取得株数	1,350万株 (上限) 発行済株式総数*に対する割合：1.13%
取得期間	2019年5月13日 ~ 7月31日
取得方法	取引一任契約に基づく市場買付け
取得株式の消却	今般、取得した自己株式の全株式数を2019年8月20日(予定日)に消却

* 発行済株式総数は、自己株式を除く。

19/3末は、1,191,632,629株 (自己株式数は、831,371株)

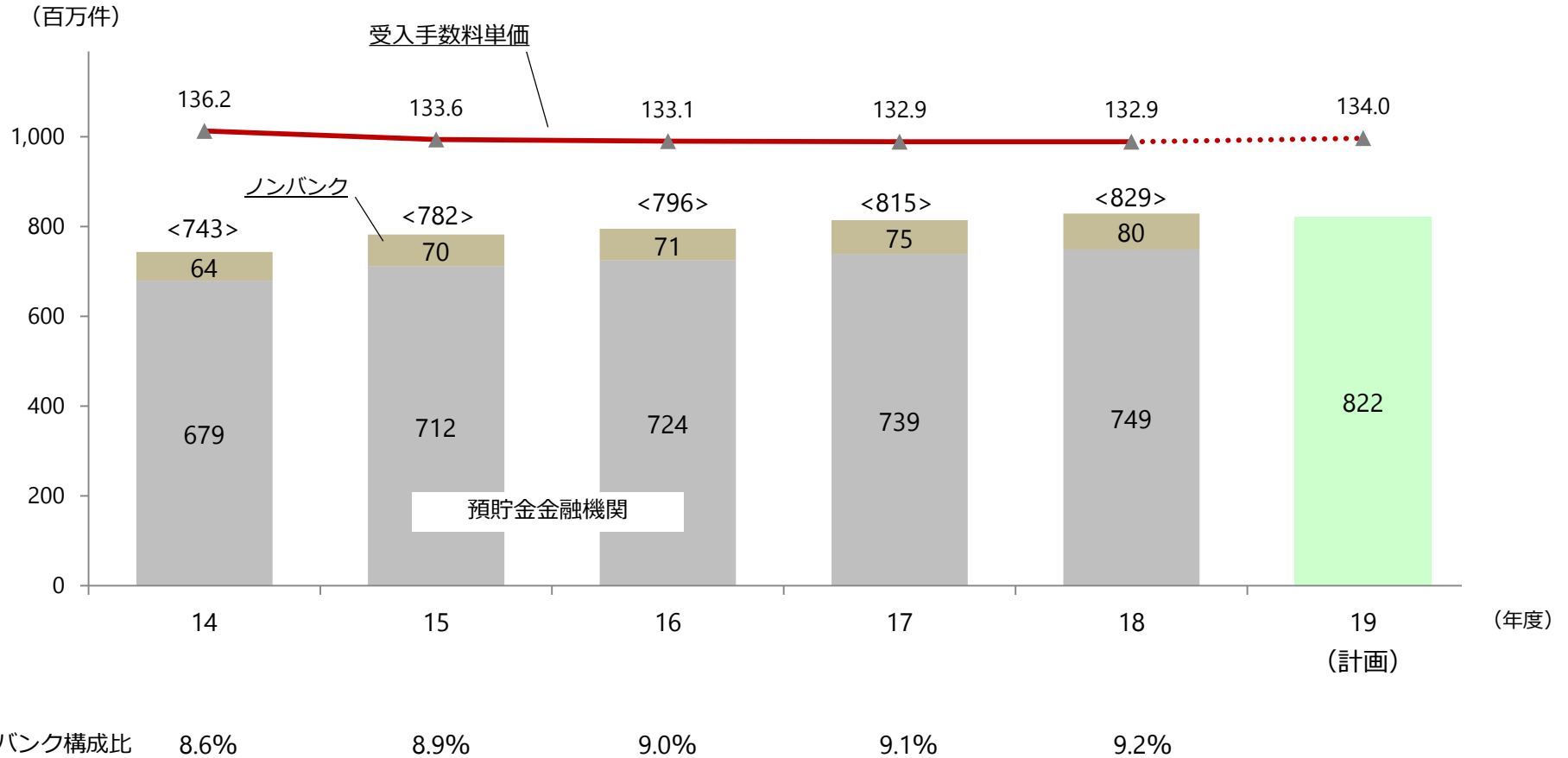
	FY17	FY18	FY19	3年間 総額
1株当たり配当 (円)	10.0	11.0	11.0	
配当総額 (億円)	119	131	129	379
配当性向 (%)	47.0	99.0	48.6	
自己株式の取得 (億円)	--	--	50	50
総還元額 (億円)	--	--	179	<u>429</u>
総還元性向 (%)	--	--	67.2	



参考資料

2019年3月期

ATM利用件数と受入手数料単価の推移

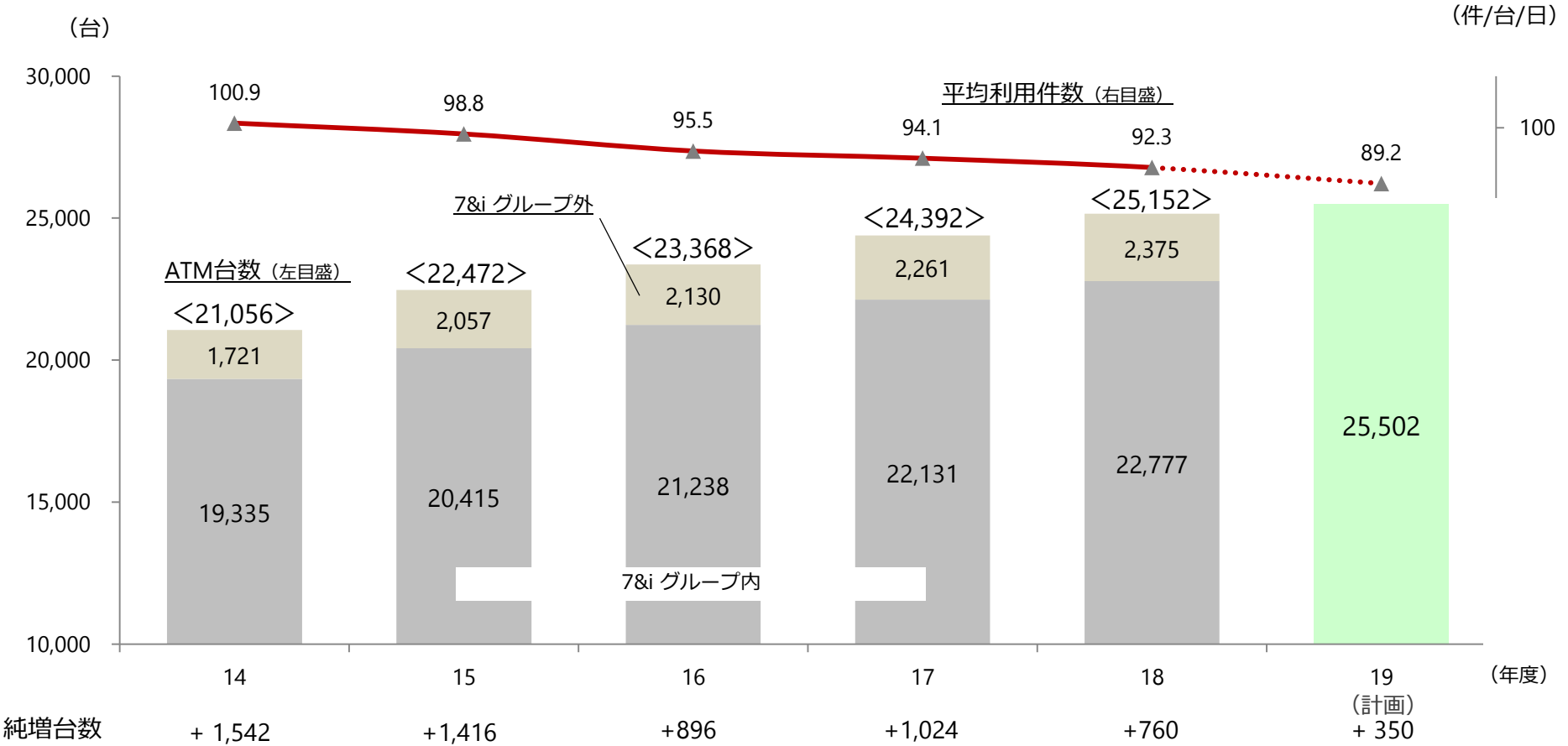


注1) 総利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず

注2) ATM受入手数料単価は、ATM受入手数料÷(総利用件数-ATM受入手数料収入を伴わない利用件数<売上金入金等>)で算出

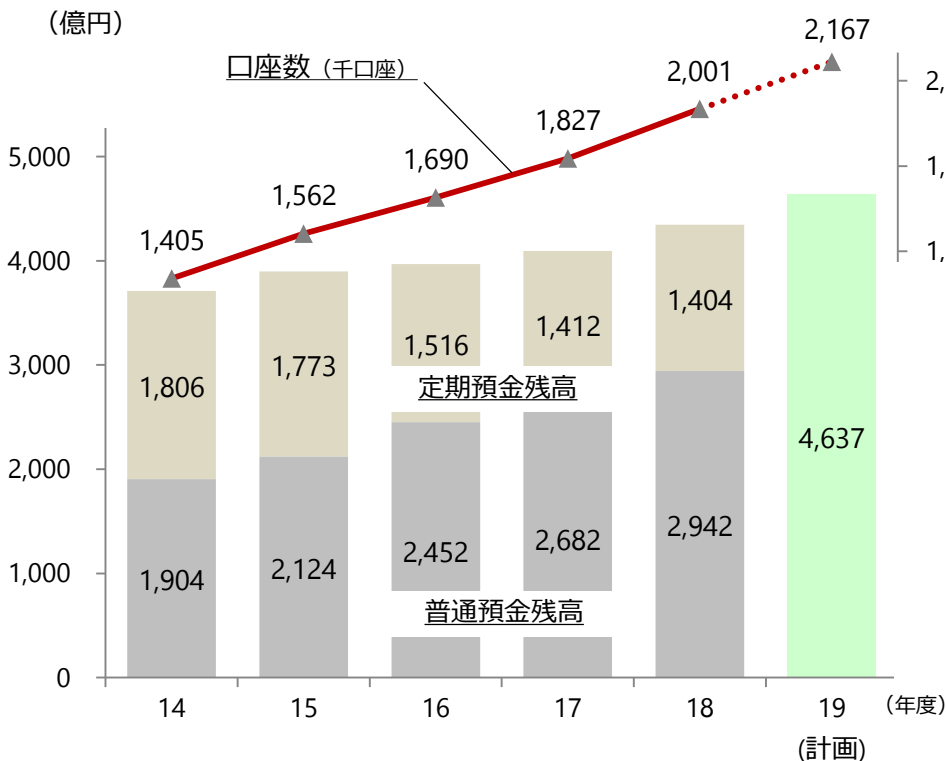
注3) 本資料におけるノンバンクは、証券会社、生命保険会社、クレジット会社、信販会社、消費者金融会社、事業会社等の合計

ATM台数と平均件数の推移

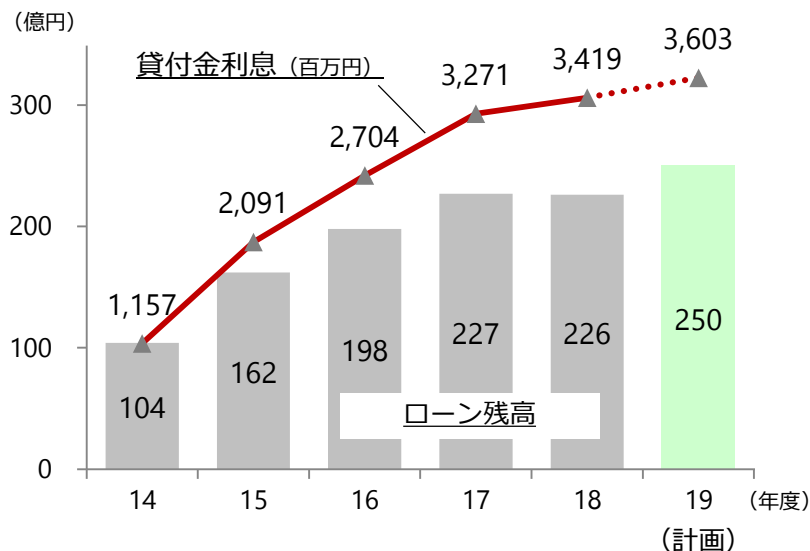


注) 平均利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず

口座数と預金残高（個人）



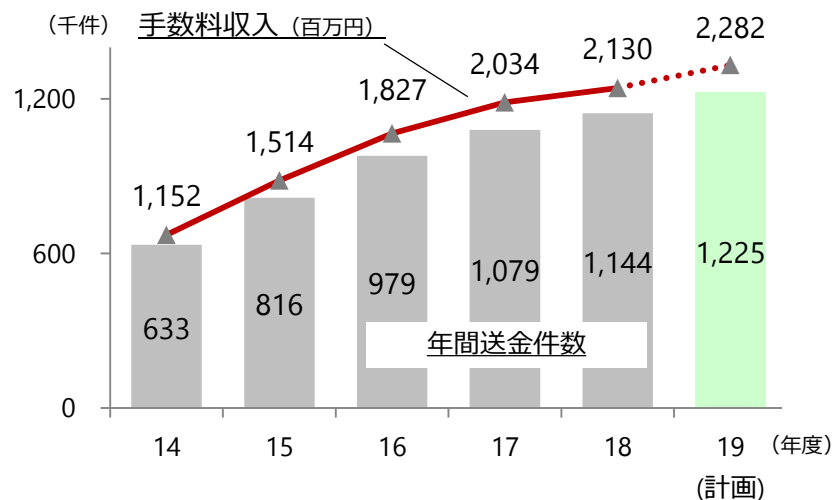
個人向けローン



デビットサービス

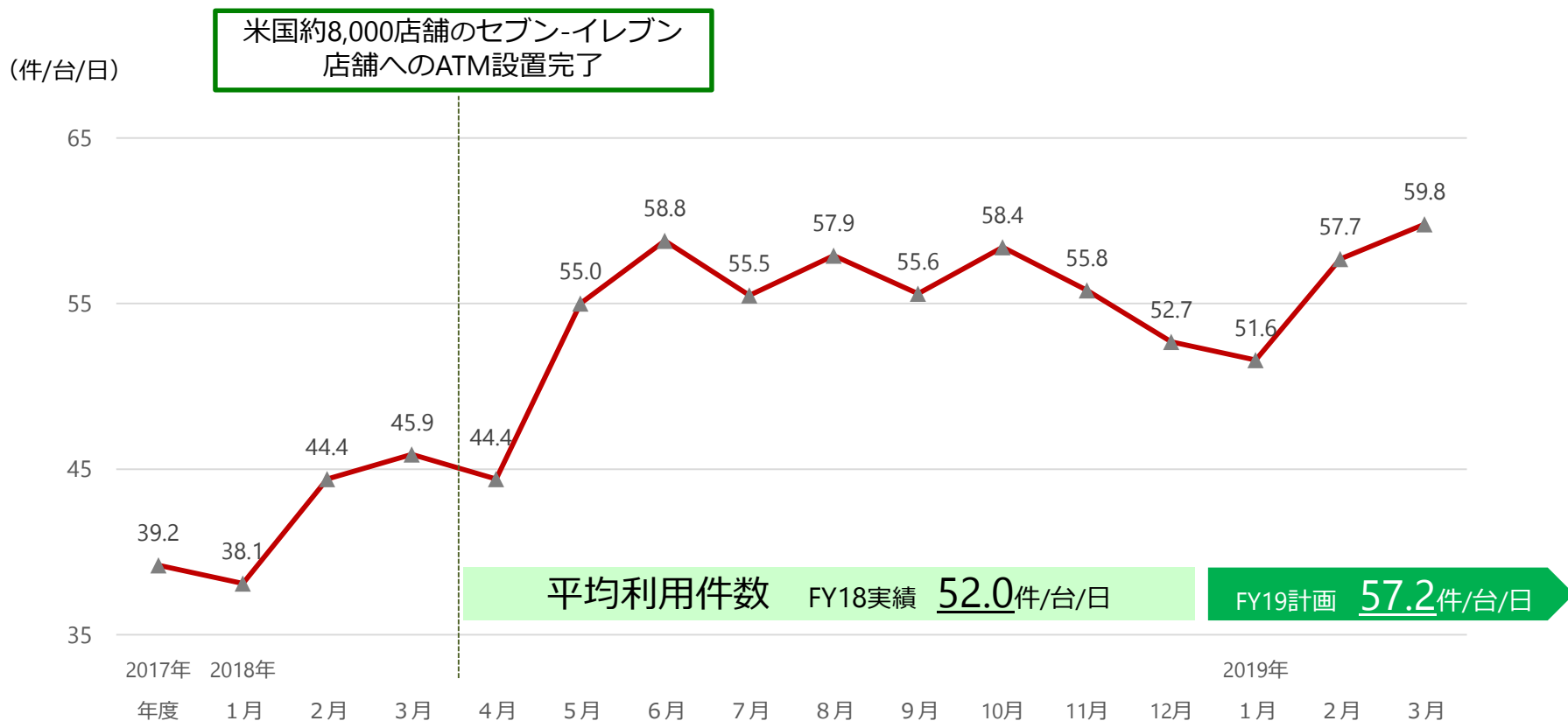
	18年度	19年度 (計画)
契約口座 (千口座)	484	618
取引件数 (千件)	10,473	14,462

海外送金サービス



米国セブン-イレブン設置ATM

月別ATM平均利用件数推移



収益性を重視した運営 = SEIでのATMビジネスに傾注・低採算ATMの計画的整理

注) 2018年6月以降は、Sunoco設置ATMを含む

本資料には、株式会社セブン銀行及びその連結子会社等の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATMプラットフォーム事業、決済口座事業及び海外事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社及びその子会社等以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。

